

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100909		
法人名	有限会社 ハニーSAKUMA		
事業所名	グループホーム アイケア住之江		
所在地	北海道釧路市住之江町8番4号 (電話) 0154-21-7030		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年9月14日	評価確定日	平成19年9月25日

【情報提供票より】(平成19年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 11月 10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	8.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	27,500~37,500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	500 円	おやつ	50 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 80 歳	最低	55 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新橋なかやクリニック・間宮泌尿器科・おおくぼ歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

交通の利便性に優れた幹線沿いの大型スーパーの裏手の閑静な住宅街に設立されたグループホームである。前庭には、畑が作られ苺や野菜が植えられ家庭的雰囲気を醸し出している。本年8月には、第2回目となる「アイケア夏祭り」も開催され、家族や地域の人達も参加され「地域とのふれあいを大切に」を理念とした活動がされて地元の人々との交流や福祉専門学校のボランティアの受け入れや地域のボランティアの受け入れなど認知症に対する理解や広報にも取り組まれている。買物ツアーや動物園見学、日常の散歩など利用者の気分転換のための外出の機会も支援されている。運営推進会議も評価日現在5回実施され、議事録として取りまとめられている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では摂取カロリーの把握についてあげられていましたが、献立表に毎食毎の摂取カロリーが記入され、栄養バランスにも配慮されて水分・食事の摂取量についても記録され支援されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	法人代表者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解しており、評価を活かした具体的な改善に取り組まれています。また、外部評価の結果については運営推進会議や「アイケア通信」で家族に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在5回実施されています。その主題については行事報告について(動物園見学) 職員の退職者及び新規採用者について 消防避難訓練及び設備の点検について 通院支援について 次回開催の運営推進会議の要望や取組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「アイケア通信」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介などの報告や利用者一人ひとりの健康状態などを「お手紙」で家族に伝え要望・意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに努めています。また、運営推進会議で意見や苦情などを受け付け、それらを運営に反映させる取組みも行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して行事に参加したり、「アイケア夏祭り」を開催して地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、ボランティアの受け入れ、地域の役員が参加する運営推進会議など日常生活を通じて地域との連携が行われるように取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からある運営理念をもとに、地域とのふれあいを大切にして利用者がその人らしく暮らし続けるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は引継ぎ時に理念を唱和して共有している。また、理念の実践に向けて日々取り組んでいる姿が伺える。		個々の職員は、具体的な個々の目標を持っている。また、その達成度について話し合わせられフォローアップされる機会も検討されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して地域の行事に参加したり、「アイケア夏祭り」を開催して地元の人々との交流に努め認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	法人代表者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解しており、評価を活かした具体的な改善に取り組まれています。また、外部評価の結果については運営推進会議や「アイケア通信」で家族に報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在5回開催されている。メンバーは家族、地域の住民代表、包括支援センター、法人代表者及び管理者・職員で構成され議事録に具体的に取組んでいる活動が記録されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市との連携の重要性について理解し、日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、更に市担当者との連携や利用者の相談などでケアサービスの質の向上に取り組んでいくよう計画されています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「アイケア通信」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介などの報告や利用者一人ひとりの健康状態などを「お手紙」で家族に伝え要望・意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに努めています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者一人ひとりの健康状態などを「お手紙」で家族に伝え要望・意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに努めています。また、運営推進会議で意見や苦情などを受け付け、それらを運営に反映させる取り組みも行われています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「アイケア通信」で職員の退職や採用について家族に報告したり、運営推進会議で報告している。また、法人代表者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	看護師を中心として、急変時の対応など職場内での研修を実施している。また、グループホーム協議会など外部の研修に参加して、職員を育てる取り組みがされている。		職員の段階に応じて認知症に対する理解度の研修が開かれたり、接遇について職場内の研修も検討されている。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流で相談やアドバイスなどを聞く機会を設けるなど開かれたグループホームでケアサービスの質の向上に取り組まれている。		今後は、職員などの相互訪問や見学が出来るように検討されている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、本人が安心して納得したサービスが受けられるように、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に食事の準備や散歩、カラオケなどをしたり生活歴を把握して、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いを職員間で共有して、散歩や買い物などの外出の機会を作ったり本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書は、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師が利用者それぞれの医師と相談しながら連携されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても内科、皮膚科、歯科などの往診が受けられるように支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いを尊重して散歩や買い物や食事の準備、裁縫、習字などの趣味を本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒になって楽しんで食事をしている。また、利用者同士助け合い楽しんで、和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、週3回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫や習字、カラオケ、散歩や買い物など気分転換のための外出の機会もつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩、動物園見学、ホーム主催の行事など気分転換や心身のリフレッシュができるように外出の機会が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように火災避難訓練が実施されています。また、内部で看護師による救急救命の講習も実施されています。		今後は、継続的に消防への通報や利用者と共に避難訓練を行うことが計画されています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについても把握されている。		献立表にカロリー摂取量が具体的に記載されている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い廊下や居間の共用空間では、観葉植物などが置かれ季節感が感じられ、また椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。中庭には、畑が作られ苺や茄子などの野菜が栽培されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、花が飾られたり仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。